



吹田 薫 議員

問

スポーツ推進計画でうたわれている「だれもがいつでも・気軽にスポーツに親しめる」生涯スポーツ社会の実現のためには、スポーツ推進委員と地域体育振興会いわゆる「各地の旧体育協会」の連携が必要と考え、所見を伺う。

## スポーツ推進計画

### スポーツ推進委員会と地域体育振興会の連携が必要では？

答

両者が連携し、定期的な活動を実施する

答 教育部長

スポーツ推進委員で構成する委員会においては、昨年度からウォーキング事業や健康づくりイベントでの体力テスト等、誰もが気軽に参加できる機会の提供に努めています。

今後、スポーツ推進委員会と地域体育振興会との連携を図り、一人でも多くの市民に参加していただけるレクリエーション的な活動を定期的かつ継続的に実施していくことが必要であると考えます。



▲「里湖で地域を結ぶウォーキング」スポーツを楽しみながら健康に

問

スポーツの推進において、体育協会は重要な役割を担っていること認識するが、体育協会の運営についてどう考えるか。

答 教育部長

スポーツ推進において中心となる団体であり、市民体育大会の開催等、競技スポーツの推進を中心に活動しておられます。

また近年は、スポーツ推進委員会や地域の体育振興会との協力により、生涯スポーツの推進に向けても取り組んでいただいています。

今後は、組織力の強化とともに、主な運営財源である市補助金への依存体質からの脱却にも取り組んでいただけるよう指導していきます。

問

運動やスポーツは生活習慣病の発病を予防する効果がある。住民の健康増進や医療費を抑制する観点から、スポーツ推進委員の位置づけは。

答 教育部長

スポーツ推進のコーディネーターの責務として、研修会の参加等により資質向上に努めていただくとともに、高島市健康増進計画「健康高島21プラン」との整合を図りながら、スポーツを通じた地域の健康づくり推進に取り組んでいただきたいと思います。

## その他の質問

●小規模工事等契約事業者への受注